

清 陵

神奈川県立横浜清陵高等学校 発行日平成30年4月28日
第12号B版 横浜市南区清水ヶ丘41 電話045-242-1926

WHAT 清陵 ? WHY 清陵 ? (1)



本校は、平成29年4月1日より神奈川県立横浜清陵高等学校として出発しました。平成30年4月6日(金)に第2回入学式を挙行し、318名の2期生が入学してきました。現在3年次生の総合学科と1年次生・2年次生の普通科の2学科が併置されています。次年度から単位制普通科の学校になります。

平成29年度入試選抜(共通選抜)では志願変更前1.42(志願変更後・実質倍率1.32)、平成30年度入試選抜では志願変更前1.61(志願変更後・実質倍率1.33)という倍率で、多くの受検生から志願していただきました。

中学生、保護者や地域の皆様はもとより県内の広い地域も含め、多くの方々から本校にお寄せいただいている期待の大きさと、本校教職員に課せられた責務の重さを、我々一同身が引きしめる思いで感じています。

これまで横浜清陵総合高校として培ってきた歴史や伝統を継承し、発展させて「新しい学校づくり」に邁進する次第です。

次に本校の特色ある教育活動・学習環境を示しておきます。

- ・基礎学力の定着と発展的な学力向上を図るためのカリキュラム編成
- ・国公立大学・医療看護系専門学校・公務員試験にも対応したカリキュラム
- ・基礎学力の定着、発展的な学力向上を図るため年間5回の定期テスト
- ・英語の民間試験GTEC(Global Test of English Communication)の実施
- ・アクティブラーニング型の授業による生徒の自主的・協働的な学習態度の育成
- ・高大接続入試に向けた生徒一人ひとりのポートフォリオの作成
- ・3年間で4時間(単位)の「総合的な学習の時間」を用いたキャリア教育の充実
- ・2年次の探求型学習としてクエストエデュケーションプログラムの実施
- ・「総合的な学習の時間」やアクティブラーニング型授業によるコミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上
- ・外国につながるのある生徒一人ひとりに応じた履修指導、学習指導、進路指導等
- ・広大な校地(47,489㎡)に3棟の校舎、多目的教室の新棟、第1グラウンド、第2グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど、整った学習環境

「入学式での祝辞」

校長

横浜清陵高等学校に入学した皆さん、誠におめでとうございます。本校を代表して校長の私より祝意を述べさせていただきます。また、愛情を持って今日まで育てられてきたご家族や関係者の皆様に対しても心より祝意を述べさせていただきます。さらにご多忙のなか、晴れの入学式にご臨席を賜りました来賓の皆様には、厚く御礼を申し上げます。さて、私から入学に際して一言申し上げさせていただきます。

皆さんが受検した平成30年度の公立高校入試で、本校は志願変更前1.61倍という高い競争率になり、志願変更後も100人の受検生が涙を呑む結果となりました。この狭き門をくぐり入学してくれた皆さんに、改めてお祝いと感謝を述べさせていただきます。

さて、今日4月6日は、アメリカ合衆国初代大統領ジョージ・ワシントンが、1789年に大統領に選出された日です。現在のアメリカの基礎を築いたのは、ジョージ・ワシントンを始め、2代目ジョン・アダムス、3代目トーマス・ジェファソンら初期の3代の大統領だといわれます。日本の徳川時代が長く続いたのも、家康を始め秀忠、家光の3代が徳川幕府の基礎を築いたからといわれています。本校の「横浜清陵」というブランド、伝統を築き上げていくのは、貴方たち2期生の役目でもあり、私たち教職員の責務でもあります。

皆さんは平成30年4月6日の今日、神奈川県立横浜清陵高等学校の第2期生として入学しました。本校の卒業生台帳には266番の番号しか振られていません。しかしこの地は戦前の横浜高等商業学校以来、90年にも及ぶ学び舎の歴史があります。先週満開だった桜は、皆さんより先に新年度を迎え新芽を出し、新葉になり、この1年間また生命をつないでいきます。皆さんも高校生活のなかで成長してください。そのためには中学校生活を振り返り、自らを高めるための目標を定めてください。成長するために振り返りは重要なもので感想や反省ではありません。目標に向けてできたこと、できなかったこと、やりなおすとしたら、次はどうする、などの視点で考えてみましょう。振り返りを日々続けたら、卒業するとき大きな成長の軌跡を生むことになると思います。

アメリカの発明王トーマス・エディソンは「わたしは、今まで一度も失敗をしたことがない。(白熱)電球が光らないことの発見を、いままで2万回したのだ。それは失敗じゃなく、その方法では上手くいかないことが分かったのだから、成功なのだ。」という名言を残しています。失敗し、悩み、苦しむことを成功に繋げるために振り返りがあるのです。失敗したと思ったときこそ、必ず振り返りを行いましょ。失敗を恐れず、挑戦し、振り返ることこそ、皆さんが成長する秘訣なのです。振り返りは教員に点数を点けてもらうためではなく、自分のためにあるのです。振り返りは、教員からいわれるからではなく、自ら振り返るといふ本人動機がないと、意味のあるものになりません。自らの行動や思考を第三者的、批判的にみることにより客観的に自分を振り返ることができるのです。振り返りの回数が多ければ多いほど、成長の度合いが大きいと思います。本校で振り返り、成長して巣立ってください。

私達教職員は、皆さんが高校生活を送るなかで成長するための支援を行っていきます。以上をもって横浜清陵高等学校を代表し、校長からの祝辞とさせていただきます。